



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1748号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352  
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル  
TEL (055) 972-2122  
会長 岩崎 守幸 幹事 飯田 守



広重版画より 三島 朝霧

## 第1810回例会 ガバナー公式訪問

2009.10.2曇

### 司 会

森崎祐治君

### 国歌斉唱

四つのテスト

### ロータリーソング

「奉仕の理想」  
指揮 前田房江君

### “こんにちは、ようこそ”

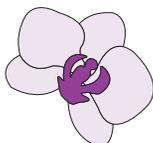
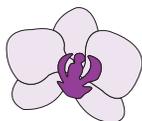
ビジター 飯田祥雄ガバナー(甲府シティRC)  
折笠浩二地区副幹事(甲府シティRC)  
石川征雄君(沼津北RC)

-以上3名-

### 会長挨拶

会長 岩崎守幸君

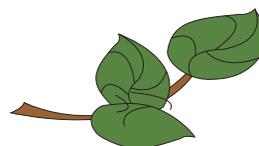
皆さん今日は。本日はお忙しい中このように多くの方々にお集まりいただきまして、2620地区の飯田祥雄ガバナー、又、役員の皆様が年度早々にお越し頂きました事は、私達ロータリークラブ活動の上で大変有意義な事で、厚く御礼申し上げます。尚、本年度はIMを当クラブが主管となり開催する事になりますので、今まではIM準備委員会で来ましたが、先月正式にIM実行委員会として実行委員長にバスト会長の関本文彦様に就任をお願いいたしました。又、当日の講演は栗田ガバナー補佐のご尽力で、東京恵比寿RCの司葉子様の内諾を頂いております。今後はIMの成功を目標に組織作りに入りますので、IMの先輩でございますせせらぎ三島RCの皆様、又、当クラブの皆様の一層のご支援とご協力を節にお願い申し上げます。



### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	42/50	84.00%	50/50	100%
今回	41/50	82.00%	会員総数	55名

欠席者 石井(良)君、井上君、黒田君、鈴木(正)君、  
諏訪部(敏)君、野口君、古川君、矢岸君、米山君



### 幹事報告

幹事 飯田 守君

#### ①10月の例会

- 2日(金) ガバナー公式訪問
- 4日(日) 見晴フェスティバル
- 15日(木) 米山記念館
- 22日(木) 職場見学
- 29日(木) 特別休会

2009~2010年度  
国際ロータリー会長  
ジョン・ケニー

ロータリーの未来はあなたの手の中に

## ガバナー挨拶



R I 第2620地区ガバナー  
飯田祥雄君

三島西ロータリークラブの皆さん、せせらぎ三島ロータリークラブの皆さん、こんにちは。

今日は三島西ロータリークラブに所属する栗田ガバナー補佐に手を引いて戴いて来ました。両クラブ

から受け取った「概要書」「クラブ計画書」によってクラブの様子を調べてみました。

三島西ロータリークラブは第38代の岩崎守幸会長を中心に男性46名、女性8名による平均年齢63歳の大きいクラブです。会員の年齢は最年長が86歳、最も若い会員が35歳、80歳代5名、70歳代8名、60歳代23名、50歳代17名、40歳代3名、30歳代1名で、年齢の分布も女性の数も優れたクラブと云うことが出来ると思います。

現会員には17名の会長経験者が含まれることも素晴らしいと思います。

台湾苗栗RCとの交換研修、見晴学園フェスティバルの共催、富士山緑化事業などに成果が見られます。又、毎月の第2例会を夜間の親睦例会にしたり、会員卓話に力を入れていることが特筆されると思います。

せせらぎ三島ロータリークラブは第21代の山梨一正会長を中心に男性35名、女性3名、平均年齢59.7歳の平均的規模のクラブです。

会員の年齢は最年長が73歳、最も若い人が44歳、70歳代2名、60歳代15名、50歳代18名、40歳代4名ですから、40歳代、30歳代の会員があと10名ほど、女性会員が5名ほど増強されると良いと思います。

タイ国バンコクのスリオンRCとの提携で毎年500台の自転車を送ること、鎌倉古道や箱根の里の継続した植林事業、又、家族例会などカラーの週報を楽しく拝見しました。

第一、第三例会を夜間にする工夫も他クラブに紹介したい事だと思えます。

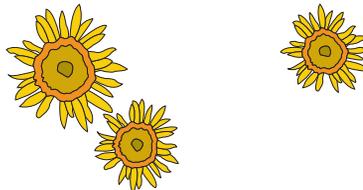
今日伺っている両クラブでは、会員の高齢化が余り進んでいないので安心しました。しかし少し油断すると高齢化と会員減少が進んで来ますので、増強のお願いについての話を少し聞いてください。

その第1は会員増強は誰にでもできて、非常に大切なロータリアンの奉仕活動であるということです。私達ロ

ータリアンにとって会員増強は職業奉仕の大切なひとつの手法です。先輩のお言葉の中に「ロータリークラブは世評の良い社会人で立派に職業活動を行っている人達の集まりだから、入会することによって、自分もその人達の仲間に入ることが出来る。ロータリークラブに入会することは宝の山に入ることなのだ」という平易な言葉ながら強く胸を打つものがあります。

私達の増強活動にはロータリアンとしての基本的な理念である職業奉仕を実践するという意味があることを再確認したいと思います。私達にはこれが第一のテーマなのです。私達ロータリアンは職業人として強い倫理意識を持ち、高い道德律を守りながら自分の職業に精励して、自分と家族、並びに部下達、仲間達の生活を安定させ、職場を発展させるという基本的な義務を達成しなければなりません。その上で更に加える事が出来た職業の成果をもって近隣など縁の繋がる人達にも幸せを分かちつという奉仕の心を忘れない良き社会人であることを求められています。現在のように厳しい社会状況の下では、私達は努めてこれを語り実行することが重要です。このことによって私達は達成感、充実感を高めることが出来ますし、共に行動する友人としての連帯感を持つことが出来ます。安定感を持ち幸福を思うことが出来ます。

その第2は、増強を働きかける相手は、若い人や女性達ばかりでなく、定年退職した60歳代の人達にも目を向けたいということです。ロータリークラブに入会すると長生きする人が多いのです。先ほどの宝の山の宝は、職業奉仕の理念だけでなく健康で楽しい老後の人生もあるのです。私は、7月27日の牧田直前ガバナーの在籍される静岡ロータリークラブを出発点にして10月28日の私の所属する甲府シティロータリークラブまで80クラブを同じようなことを申し上げながら歩かせて頂く予定です。



(週報担当：柳田英雄)